



みやしろ

いよいよスタート！愛称「みらい」 宮代町教育支援センター

—第5次総合計画「地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業」—

教育委員会では、宮代町の第5次総合計画「地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業」の一環として、令和4年4月1日から宮代町教育支援センターを開設します。

【教育支援センター主な役割】

- (1) 様々な事情から学校に通えていない又は通にくい小・中学生の支援
- (2) 幼児・児童・生徒・学生・保護者の教育上の悩み、いじめ、進路、就学等の教育相談

<通級までの流れ>

- ① 事前に相談・面談を行う。
(本人・保護者⇄教育支援センター・学校)
 - ② 書類を提出する。
(保護者→学校→教育委員会)
 - ③ プレ通級で実際に通級を体験する。
 - ④ 本通級するかどうかの面談を行う。
(本人・保護者⇄教育支援センター・学校)
 - ⑤ 書類を提出する。
(保護者→学校→教育委員会)
 - ⑥ 本通級開始
- ※詳しくは宮代町のHPをご覧ください。

安心感



<適応指導教室の1日>

朝の会	9:20~ 9:30
①自由課題	9:30~10:00
②教科・実技	10:15~11:00
③教科・実技	11:15~12:00
昼食・休憩	12:00~13:00
④教科・実技	13:00~13:45
⑤自由課題	14:00~14:30
帰りの会	14:30~14:40

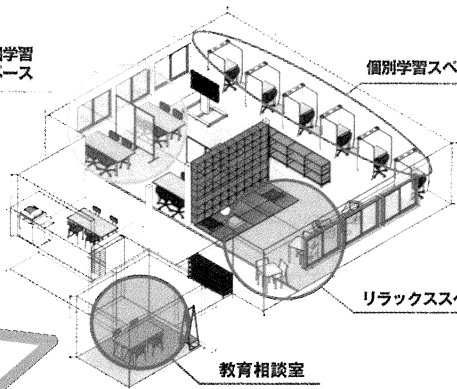
自分のペース

居場所

<教育相談>

- 受付時間
9:00~16:30
- 方法
電話、面談
- 担当
教育相談員、教育支援員

集団学習スペース



個別学習スペース

リラックススペース

教育相談室

教育支援センター1Fイメージ図

※レイアウトは実際とは異なる場合があります。

【愛称について】

宮代の子供たちをはじめ、多くの皆さんに親しみをもってもらいたいと、宮代町教育支援センターの愛称について検討してきました。

「こんな愛称がいいのでは」と市民団体の皆さんからも多くのアイデアをいただきました。どれも素晴らしいアイデアでした。

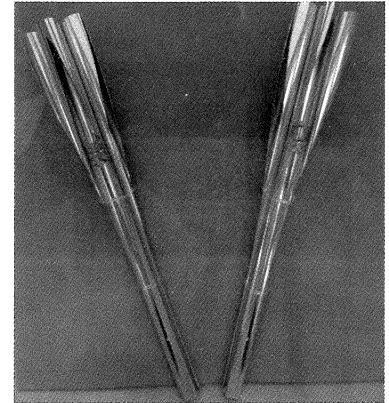
その中から…宮代町の子供たちの「未来」を拓く一助になるような場所となるために、そして、「未来」への希望を感じることができる場所となってほしいとの願いを込めて「みらい」としました。

2020東京オリンピック聖火リレー記念展を開催！

令和4年1月17日(月)から1月24日(月)まで、宮代町役場庁舎1階ロビーで「東京2020オリンピック聖火リレー記念展」を開催しました。この展示会では、令和3年7月7日、埼玉県での実施2日目第6区間(杉戸・宮代区間)として、杉戸町と合同で実施した東京2020オリンピック聖火リレーを記念し、6区間で走った聖火ランナーや、聖火リレーで使用されたトーチやユニフォーム、関連アイテム等を紹介しました。会場を訪れた方は「コロナで当日は観に行けなかったが、当日の熱気が伝わってきた」と笑顔で話してくれました。また、東京2020パラリンピックの聖火トーチや関連アイテム等も紹介しました。今回の記念展は、杉戸町とも連携して実施しており、両会場を巡るスタンプラリーも好評でした。



聖火リレーランナーのユニフォーム



聖火リレートーチ(右:オリンピック、左:パラリンピック)

人権について”今一度考えよう”

2022年2月、中国の北京市で「2022オリンピック・パラリンピック冬季競技大会」が開催されました。

オリンピックは人権とも深く関係しており、オリンピック憲章では、人種や肌の色、性別、性的志向、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出身やその他の身分などの理由によりいかなる差別をしてはいけないことが謳われております。

しかしながら、私たちのまわりでは、同和問題(部落差別)、女性、子ども、高齢者、障がいのある方、外国人に関わることなど、多くの人権問題が存在しています。小学生や中学生のインターネットの利用が年々増加している中、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を通じた差別的な書き込みや特定の個人に対する誹謗中傷、インターネット上でのいじめなど、子どもが加害者や被害者になり、トラブルに巻き込まれてしまいます。そこで、町教育委員会では、誰もが個人として等しく尊重され、共生していく差別のない社会の実現に向け、様々な啓発活動を行っています。

問合せ:生涯学習・スポーツ振興担当 内線432



町職員・教職員の人権合同研修会

主な活動

1. 広報や町ホームページによる啓発
2. 人権に対する正しい理解と認識を深めるため、町職員や教員、町関係団体を対象とした研修会の開催
3. 各小中学校における偏見や差別をなくせるように、児童・生徒の発達段階に応じた人権問題への学習



問合せ:生涯学習・スポーツ振興担当 内線431

第3回企画展「古文書に見る人々の暮らし～古典に親しむ～」を開催中！

郷土資料館では、第3回の企画展「古文書に見る人々の暮らし」を開催しています。

収蔵品の中には、古文書とともに多くの書物があります。中には、歴史的価値を持ち、後世の人の教養に資するとされる書物が含まれています。

「古典」と呼ばれるこれらの著作物は、学校教育の場で、あるいは生涯学習の場で、それを読む私たちにさまざまなことを伝えてくれます。

今回の企画展では、収蔵品の中に残されている書物の中から、「古典」として身近な著作物を江戸時代の人々が使用していた書物で紹介しています。皆様のお越しをお待ちしております。



『南総里見八犬伝』より

期 間 令和4年3月12日(土)～5月8日(日)

※期間中の休館日 3/14(月)、22(火)、28(月)、4/4、11、18、25
全て月曜日、5/2(月)、6日(金)

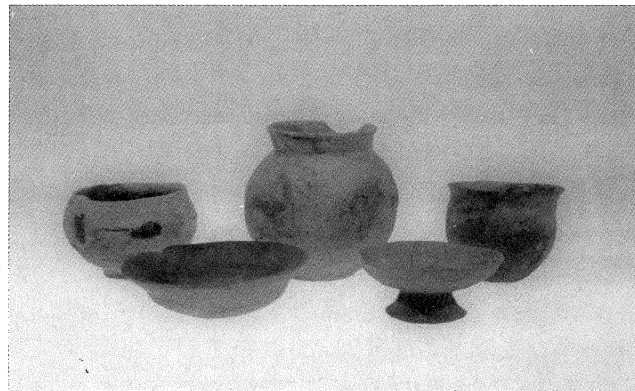
場 所 宮代町郷土資料館常設展示室

道仏遺跡の発掘調査終わる！

教育だよりNo.9で速報をお届けした、令和3年度道仏遺跡発掘調査ですが、出土した遺物などの整理作業が進み、徐々にその成果が明らかになってきました。今回の調査では、古墳時代中期から後期にかけての住居跡が約30軒検出され、大きな集落跡の一部であったことが確認できました。また、古墳時代の土師器、須恵器、韓式系軟質土器といった土器類や石製品、玉類など様々な種類の遺物が出ており、破片などを含めると数千点にのぼります。

まとまった数の住居跡や遺物が出土するのは道仏遺跡の特徴のひとつです。これから、調査の成果を皆様に見てもらえるように、土器の破片をつなぎ合わせて復元していく接合作業や、出土遺物の形や模様などを正確に記録していく実測作業といった整理作業を進めていきます。今後の情報にご期待ください。

問合せ：宮代町郷土資料館
TEL 34-8882



出土した遺物(土師器)



遺跡発掘調査の様子

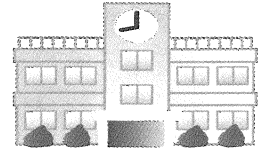
小中学校の適正配置に関するこれまでの取組と今後の取組について

小中学校の適正配置については、平成23年11月の公共施設マネジメント計画の策定を受け、これまで検討を進めてきました。今回は、これまでの小中学校の適正配置に関する取組と今後の方向性についてお知らせします。

問合せ 教育総務担当 内線425

これまでの取組について

- 平成23年11月 「宮代町公共施設マネジメント計画」を策定
⇒学校を核とした地域づくりを提案
- 平成24年12月 「適正配置に関する審議会」を設置
- 平成25年 6月 審議会に対して適正規模と適正配置について諮問
- 平成26年12月 審議会から「適正配置の基本的な考え方」について答申
- 平成28年 3月 「宮代町立小中学校適正配置計画」を策定
⇒将来的に小学校3校、中学校1校に再編する旨を計画に位置付け
⇒併せて、学校施設の多機能化についても計画に位置付け
- 平成28年10月 須賀中学校区、百間中学校区、前原中学校区ごとに計6回の地域説明会を実施
- 平成28年12月 町議会にて「小中学校の統廃合について、慎重な取組を求める請願」が採択
趣旨：早急に進めず、保護者及び町民の声を反映させ、計画の見直しと検討を求める
- 令和元年 7月 「適正配置に関する審議会」を再設置
⇒適正配置計画の検証及び学校教育環境を取り巻く環境の変化を踏まえた今後のあり方について諮問
- 令和3年 5月 諮問事項に対する答申



今後の取組について

町では、これまでの経緯、審議会からの答申及び今後の児童・生徒数の推移等を踏まえ、様々な観点から今後の小中学の適正配置はどうあるべきかについて検討を行ってきました。

その結果、全国的な少子化傾向を考えれば、長期的には児童生徒数の減少は避けられず、学校規模が失われることで生じる課題への対応が必要になること、また、学校施設の老朽化や近年求められる教育環境の変化（ICT化等）への対応が必要になること等を勘案し、令和4年度から概ね20年間の長期的な視点で新たな小中学校の適正配置に取り組むこととしました。

具体的には、概ね20年間とする計画を第1期、第2期のそれぞれ10年に分け、以下の取組を進めます。

○第1期（令和4～13年度頃）

⇒須賀小学校及び百間小学校の再整備、今後の児童生徒数の推移を踏まえた第2期の取組方針の検討

○第2期（令和14～23年度頃）

⇒第1期で検討した方針に基づく適正配置の取組

※こちらのQRコードから詳しい内容を御覧いただけます。（町公式ホームページ）



説明会を開催します

小中学校の再編は、学校に通う子供たちと保護者はもとより、地域の方々、そして、将来、宮代町の町民になる方にとっても多大な影響が生じます。そこで、「なぜ適正配置が必要なのか?」「どのような考え方で取り組むのか?」「将来的にどうなるのか?」など、今後の小中学校の適正配置の取組についての地域説明会を開催します。

開催時期は、5月下旬から、開催方法は、各中学校区単位で小学校体育館を利用して行います。

詳細については、広報みやしろ5月号、町公式ホームページでお知らせいたします。